



この月報は、当協会が実施している全国100標準小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの店舗）を調査対象にしている自転車国内販売動向調査の調査結果をとりまとめたものです。全国の自転車販売の基調となる動向を示すものとしてご活用願えれば幸いです。

：全国を9地域に分け、合計で100店舗になるよう各地域に人口、自転車保有台数、自転車店舗数を考慮した調査店舗数を割り当てました。各地域に含まれる都道府県は次のとおりです。  
なお調査店舗は年度毎に一部を入れ替えています。そのため対前年比の値は参考値です。

北海道・東北：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島  
 南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川  
 中部：山梨、長野、岐阜、静岡、愛知  
 近畿：三重、滋賀、奈良、和歌山  
 中国・四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知  
 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

北関東：茨城、栃木、群馬  
 北陸：新潟、富山、石川、福井  
 京阪神：京都、大阪、兵庫

19.7                      37.4                      4.2                      5.9  
 2.1                                      4.2                                      9.2  
     6.3                                      10.9

[全国9地域 店舗：100]

(平成20年7月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	1店当たり販売高							
	本月		前月		対前月比	前年同月		対前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	4.7	19.7	3.6	17.1	130.6	4.4	20.1	106.8
ホーム車	8.9	37.4	7.5	35.7	118.7	8.5	38.8	104.7
折りたたみ車	1.0	4.2	0.6	2.9	166.7	0.8	3.7	125.0
子供車	1.4	5.9	1.5	7.1	93.3	1.8	8.2	77.8
幼児車	0.5	2.1	0.6	2.9	83.3	0.6	2.7	83.3
マウンテンバイク	1.0	4.2	0.7	3.3	142.9	1.2	5.5	83.3
スポーツ車	2.2	9.2	2.2	10.5	100.0	1.4	6.4	157.1
電動アシスト車	1.5	6.3	1.3	6.2	115.4	1.3	5.9	115.4
合計	21.2	89.1	18.1	86.2	117.1	19.8	90.4	107.1
中古車	2.6	10.9	3.0	14.3	86.7	2.1	9.6	123.8
総合計	23.8	100.0	21.0	100.0	113.3	21.9	100.0	108.7
モーターバイク	0.8	3.4	0.8	3.8	100.0	0.8	3.7	100.0

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

(平成20年 7月)

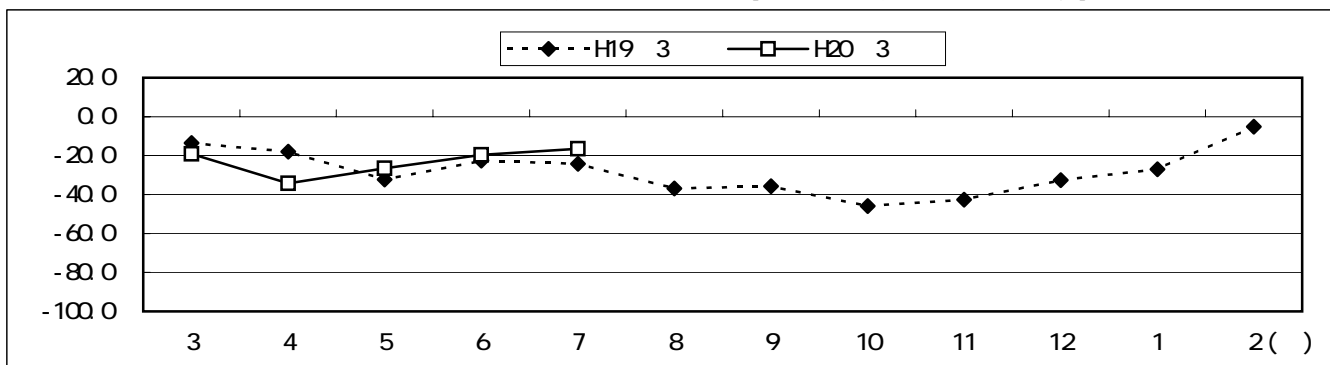
[上段：台数(台) 下段：比率(%)]

車種別 地域(店舗数)	シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	小計	中古車	合計	モーターバイク
北海道・東北 (15店)	4.7 20.3	6.1 26.4	1.0 4.3	1.7 7.4	0.8 3.5	1.2 5.2	2.4 10.4	1.5 6.5	19.5 84.4	3.6 15.6	23.1 100.0	0.7 -
北関東 (5店)	2.8 16.5	9.4 55.3	0.8 4.7	1.6 9.4	0.2 1.2	0.4 2.4	- -	0.4 2.4	15.6 91.8	1.4 8.2	17.0 100.0	2.2 -
関南東 (20店)	4.8 17.8	12.5 46.3	0.7 2.6	1.6 5.9	0.4 1.5	1.4 5.2	1.7 6.3	1.4 5.2	24.4 90.4	2.6 9.6	27.0 100.0	0.7 -
北 陸 (7店)	1.7 8.8	5.6 29.0	1.3 6.7	1.4 7.3	0.1 0.5	0.1 0.5	3.7 19.2	1.4 7.3	15.4 79.8	3.9 20.2	19.3 100.0	1.4 -
中 部 (13店)	7.9 25.1	11.8 37.5	0.8 2.5	1.6 5.1	0.5 1.6	1.4 4.4	3.1 9.8	1.7 5.4	28.8 91.4	2.6 8.3	31.5 100.0	0.2 -
京阪神 (14店)	7.4 26.1	9.6 33.9	1.3 4.6	1.7 6.0	1.1 3.9	0.7 2.5	2.6 9.2	3.4 12.0	27.7 97.9	0.6 2.1	28.3 100.0	1.0 -
近 畿 (6店)	3.0 14.0	7.8 36.3	1.0 4.7	0.8 3.7	0.3 1.4	1.2 5.6	1.2 5.6	1.3 6.0	16.7 77.7	4.8 22.3	21.5 100.0	2.0 -
中国・四国 (10店)	2.7 18.1	4.1 27.5	0.7 4.7	1.0 6.7	0.2 1.3	0.4 2.7	2.3 15.4	1.0 6.7	12.4 83.2	2.5 16.8	14.9 100.0	0.6 -
九 州 (10店)	2.4 12.7	8.1 42.9	1.3 6.9	0.5 2.6	0.1 0.5	1.6 8.5	1.8 9.5	0.5 2.6	16.3 86.2	2.6 13.8	18.9 100.0	0.1 -
合 計 (100店)	4.7 19.7	8.9 37.4	1.0 4.2	1.4 5.9	0.5 2.1	1.0 4.2	2.2 9.2	1.5 6.3	21.2 89.1	2.6 10.9	23.8 100.0	0.8 -

(平成20年 7月)

		車種別	シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	合 計	
仕 入	本 月(台)		3.7	8.0	0.7	1.2	0.4	0.9	2.0	1.5	18.4	
	前 月 比(%)		102.8	109.6	116.7	100.0	66.7	128.6	105.3	115.4	107.6	
	前年同月比(%)		94.9	90.9	87.5	60.0	66.7	75.0	181.8	107.1	92.9	
在 庫	本 月(台)		13.9	15.4	2.8	5.0	2.9	3.2	5.0	1.8	50.0	
	前 月 比(%)		93.9	100.7	93.3	98.0	93.5	97.0	100.0	94.7	97.1	
	前年同月比(%)		87.4	97.5	77.8	79.4	78.4	78.0	128.2	94.7	90.6	
在庫率	在庫/販売(倍)		3.0	1.7	2.8	3.6	5.8	3.2	2.3	1.2	2.4	
			18.4			50.0			2.4			

(注) 業況 D I = 今後 2 ~ 3 カ月の販売見通しを「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)



平成20年 7月

- 好天に恵まれたのと、子供たちが夏休みで店は少々にぎわった。(北海道)
- 7月は幼児車が売れた。6月が悪かったが挽回です。(北海道)
- 事故や盗難が多い月でした。(北海道)
- ロード・マウンテンの修理が多かった。ガソリン高値のせいか古い物をひっぱり出して使用するというユーザーの意見。新車を買ってほしいが修理の方が率はいいからね。売上げがあるだけいいのかな！(青森県)
- スポーツ車が売れました。ヘルメット、メーターなど小物も売れるからいいですね。(岩手県)
- バイクを下取りして、電動車に乗り換えるお客様が数名見受けられた。(宮城県)

- 全国的な傾向のようですが、何年も乗らないで放置していたスポーツ車（ロードレーサー）を出して来て、レストアを希望されるユーザーがポツポツ来店されます。このような流れを大切にすることが専門店の今後の生きる道のひとつだと思います。（宮城県）
- ある大手メーカー営業マンの話では、婦人車・スタグガードが激減、電動自転車が急伸で、売上金額は110%を超えているとのこと。6～7段変速付スタグガードの注文もふえているとのこと。今回の統計もスポーツ車の前年比約170%。確信を持って仕入れ、展示に力を込めてゆきたい。（福島県）
- 当店は7月決算なので広告、DMと頑張ってみました。今月は売上増にはなりません。春需の販売減を挽回できません。景気低迷の中、合理的な経営の見直しが必要かと思っています。（福島県）
- 全国的に修理が多いようだが、とにかく修理が増えた。何年か前に販売した古い自転車を直して乗ろうという人も多い。量販店のチラシ広告も安い価格が少なくなったので低価格の販売も多かった。（茨城県）
- ガソリン値上げで自転車、バイクが見直されてきたようです。問合せ、販売、修理増えました。（茨城県）
- 山梨県の販売店さんと同じく、お客様からの注文にメーカー在庫なしで売り逃しています。新しいカタログですとメーカーは持ってくるが、それでも在庫0はどういうことなのでしょう。ガソリン高騰も暑さ倍増には勝てない。客足も夕方にも多くなるかな！？（栃木県）
- 国内生産に全力を上げてもらいたい。（埼玉県）
- パンク修理かタイヤチューブ交換か難しい判断の場合がある。お客様の負担を考慮できるだけパンク修理にするが、翌日「やっぱりダメでした」というケースが多々ある。パンク代を引いてタイヤチューブ交換にするが二度手間。バカ正直な商売も大事だが、積極的な商売も大事だとつくづく考える。（千葉県）
- スポーツ車の販売比率が確実に高くなってきている。それにともない部品の売上げも上がっている。今後ますますスポーツの需要は増えていくと思う。09モデルの発表が待ち遠しいです。（東京都）
- ガソリン高騰で車から自転車に変える傾向が感じられますが、他の物価の値上がりもありサイフの紐が固く、販売台数の増加はまだ望めない状態。（東京都）
- 私事ですが、粗悪部品等を使用し修理、売るとは店主失格です。確かな部品、正しい修理の仕方を行えば、お客様は高いとは言いませんよ。私の場合、お客様が逆に多く置いていく人がいますよ。修理部品等で高いと言われたい仕事をしてください。お客様も物価高で大変なんです。丈夫で安い乗物だと喜ばれる自転車店、人になって下さい。（東京都）
- 7月は修理、販売と多い月でした。夏バテしないよう気をつけないと。まずは健康第一ですから。（東京都）
- 地球温暖化対策等で議論された「サミット」も結局空振りに終わりましたが、世の中「エコ・e c o・省エネ」の大合唱。環境にやさしい乗り物として自転車の存在が見直され、メディアでもひんぱんに取り上げられていますが、機器だけではなく、お客様の財布も何か「省エネ（節約）」されているみたいで、とてもじゃないけどやってられないですね。（東京都）
- 今月は2週間ほど入院してしまったので、売上減少してしまった。若者は何も知らなすぎる。「空気の入れ方も教えてくれなかった」「自転車の常識もわからない」と言う。親切に教えてあげても自転車を買う時はディスカウントに行ってしまう。そして我々年配者は自転車屋しか仕事が出来ないのでやっているが、若者は考えこんでしまう。（東京都）
- パツとしない状況がダラダラと続いている感じなので、少し大きな動きをしてみようと思案している。ただし8月は見込みが薄いので、9月に向けての準備期間と割り切って行動しようと思う。（東京都）
- 低価格販売をしてみた。若い人が買った。年齢がいった人は話をするとメーカー車に流れる。きっかけとしては成功か？低価格車の店になりかねない。今月はオリジナル車を前面に出してみたい。（東京都）
- 原油高で少し動きが良くなるのではないかと期待はしていたが、人々がいうほどには動かない。ちょっと気がついたことは、スポーツ車に乗ってる人が少し増えたかな？そんな感じはする。しかしスポーツ車は若い人が多いので、店主も若くなければそんなに売れるものではない。オーダー車も最近はめっきりなくなって、やはりホーム車を主に売るほかはない。（神奈川県）
- ガソリンの急な値上がりで自転車利用に関心が高まりつつあります。電動アシスト車が好評です。ただし地方商店の中心が大型ホームセンターの影響で廃業等でさびしくなっています。（新潟県）
- 世の中の情勢は自転車店に追い風であるはずなのだが、大型店指向の勢いは止めることができない。専門知識が必要なスポーツ車でさえ、素直に注文してはくれない。難しい時代で頭を抱えてしまう。（新潟県）
- ガソリン高により電動アシスト車が例年より売れる（少々）みたいです。景気があまりよくないみたいで、買い控えがあるようで売上げ伸びにはあまり期待できません。（福井県）
- 新車販売は昨年同月比で160%の売上げでした。古い自転車をまた乗りたいとパーツ全体を交換する修理が数台入り忙しい毎日でした。最近の傾向ですが自転車の初心者が多く取扱い説明やら乗り方やら手間がかかりますが、いいお客様です。親切的な対応を心掛けています。テレビ、雑誌等で自転車に関してよく話題になっています。今のブームが一過性で終わらないよう関係団体等の援護をお願いしたい。（山梨県）
- やはり夏休み前にスポーツ車が好調でした。ただ展示を多くしたいのですが、9月から10月にかけて2009年度モデルが販売されるので様子を見ています。（山梨県）
- 小売店の販売は減少。（長野県）
- 6月に続き7月も販売、修理とも好調だった。ガソリン高の影響でしょうか？（長野県）
- 今月は電動アシスト部品取替えがありました。夏休みに入り点検も少しずつ入ってきています。（岐阜県）
- ここ数か月一般車の売れ行きは良くありませんが、スポーツ車が好調です。梅雨明けして暑い日が続いていますが、依然好調が持続しています。一時的なブームにならないといいのですが。（岐阜県）

- なかなか販売にむすびつかないが、自転車に乗ろうという人が増えている。この人たちに何とか乗ってもらい販売につなげたい。(愛知県)
- 自転車の販売はそこそこでした。修理はタイヤチューブ交換等多めでした。(愛知県)
- 完成車、部品等の値上がり。先々の販売に不安。(愛知県)
- 鉄、アルミ、ステンレスが高くなったので、廃自転車を無料で持っていってくれます。今まで処分料を払っていたので助かっています。(愛知県)
  
- 夏休みだというのに幼児車、子供車、全然売れず。少子化の影響かスーパーやホームセンター、大型店へ流れているのか。利益率の低い子供車なのにサイズや色等そろえないと話にならないし、そろえても売れない。つらいです。自転車は原油高で追い風といわれているが、都会だけで田舎ではねえ。(京都府)
- 修理収益で耐えた1か月でした。(京都府)
- 毎日暑い日が続きましたが、修理など大変忙しかったです。7月の中旬にチラシを出しました。スポーツ車などが良くできました。ガソリンの値上げのせい、自転車通勤をするという人も！バイクの修理も多くありました。1日に4台、5台の修理がかさなり、忙しく、暑い夏のスタートになりました。この業界は修理があるのでやっていけます。でも部品が値上がっているの、これからどうしたものかと考え中です。たぶん修理代は値上げできないだろうけど…。(京都府)
- 中古自転車を置いていますか？というTELが多くかかってきます。お客さんも安ければ何でもいいと思っている人がますます増えてきているようです。(大阪府)
- 今年に入って昨年比電動車は伸びています。今月も昨年より40%UPです。残念ながら一般自転車は減少しています。(大阪府)
- 健康志向とガソリンの高騰により、スポーツ車に乗っているユーザーが増えているように思われます。残念ながら、当店では数年前に店舗を縮小し、商品在庫を少なくしたためか、新規参入のユーザーつかみきれません。市場が活気づいても、売上げは減少したまま、横ばいが続くと思います。販売台数は少量ですが、20万~50万の高額商品が中心です。(兵庫県)
  
- 今月は高額なロードレーサーやアシスト車の販売があったが、ロードレーサーはカタログや雑誌を見ての指名買いだった。安価な自転車も値上がりしてきたので10,000円以下では売れなくなってきた。(三重県)
- ガソリン高の影響か？電話、メールの問合せが増えました。ありがたいことですが、「おいくらになりますか？」(値引き)と聞かれることが多く困ります。(滋賀県)
- 6月の他店様もガソリン高騰による需要の変化のご意見が多いようです。当店も5~6月の商談の流れから7月の新車拡販に期待しましたが、新車はスポーツ車含めて来客対応に時間がかかり、商談止まりが多く、古い手持ちの自転車やバイクを修理して乗られるお客様、中古車が多く、おまけにこの暑さでがんばって働いている割に収益の上がらない7月でした。8月もこんな感じが続くと思われます。(滋賀県)
  
- 先月、ガソリン高でも山間地のせいであまり商売につながらないと書いたが、更なる値上げもありオートバイの中古車を求める声はものすごく増えた。ただ予算は低く何ともありがたいとは言えない。(鳥取県)
- ガソリンの値上げで期待をもっていたが、問合せや実際に動くのは中古車ばかり。中古車もあまり悪いのは出たくないの、つい手間をかけてしまう。中には水をかけホコリを落とし、おまな所だけ点検して販売している店もあるようだが、自店では考えられない。結果時間と金がかかってしまい、お客様中古車の要望に答えられていない現状だ。(島根県)
- ガソリン高で大都市圏ではクロスバイクやロードが売れていると聞く。当地方でも多少動く気配があるものの、実感はない。修理は多少増えた気もするが、どうすればガソリン高を逆手にとって新車販売に結びつけるか試行錯誤の日々です。(山口県)
- ガソリン価格が上がったことで販売が増えた店、そうでもない店とさまざまなのですが、当店の方ではこの7月連日30℃~36℃となる日々でしたので、自転車に乗って道を行く人を見当たりません。(徳島県)
- 「工具貸して」は多いですね。「油貸して」なんてのもあります。当店では一切貸出しはしていませんが、素直に帰る方はほとんどいません。言い合いになるのは嫌なので、ひたすら頭を下げておことわりしています。空気入れを貸すからこんなになるのでしょうか？(高知県)
  
- 完成車の販売は少なかったが、スポーツ車関係の部修が多く良い実績を挙げることが出来た。各地域からの報告の内容が様相が様々ながら厳しさを感じさせるに充分である。やはり個の時代です。個をしっかり護ることを考えなければならないと思う。商品の値上がりに対しては種々方法があるかと思うが、使用中の車は要修理も多いので点検と併せて小手先の修理、ちょっとした小物の追加で修理料として加算請求をしている。ガソリンの高値によりその影響が少し出始めたようで、古い持車の補修など、中でもタチの取替えは大きなウエイトを占める。組合の問題だが去り行く同業者、淋しい想いである。今組合は何をなすべきか？果して何をやっているか、私たちのため、検討すべき時期と思う。(熊本県)
- 輸入車が人気があるが(有名MTBロードメーカー)、売りたいが在庫がなく販売できない。(熊本県)
- 当店の努力目標：ガソリン高で自転車を利用する人が増えたのは事実かもしれないがそれを追い風と捉えるのは筋違いという気がします。ガソリン価格に関係なく自転車利用者が増えてほしい。我々業界の繁栄のためには、広く一般の人の中で自転車の認識が高められなければいけない。手段として自転車に乗るといった需要も必要ですが、「乗りたいから乗る」というものにしていければと感じます。(大分県)
- ガソリン高の影響がジワジワ生活に表れてきている。コンビニにたむろする子供たちを見ません。虫取りをする子供も皆無です。相変わらず中古車作りに追われています。現在予約2台、修理も多いです。いいお客様は確実な仕事と信頼で待って下さいます。同業者2店舗の1店閉店。寂しくなります。(鹿児島県)

## (平成20年7月)

(1) 本月の売れ筋の特徴

[単位：％]

## 価格帯別構成比

車種別 価格帯(円)	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車			
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	
10,000円以下	1.9	2.8	5.9	6.3	7.8	8.3	1.1	0.0	3.8	0.0	0.7	1.1	2.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
10,001～13,000円	11.6	11.0	12.0	18.6	20.3	17.2	12.9	10.9	8.8	3.6	2.6	0.6	4.1	11.5	21.4	3.8	4.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
13,001～17,000円	10.7	8.8	12.5	14.1	14.2	9.1	26.9	25.0	23.8	9.4	9.9	17.0	22.4	31.1	19.6	1.0	1.4	0.9	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	
17,001～20,000円	15.0	9.9	8.0	13.6	11.8	17.5	12.9	12.5	2.5	15.8	13.8	18.8	36.7	26.2	42.9	1.9	2.7	3.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	
20,001～23,000円	7.9	8.0	12.3	10.1	11.3	10.4	3.2	6.3	8.8	22.3	25.7	23.9	24.5	24.6	16.1	5.7	5.4	3.5	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	
23,001～27,000円	10.7	13.0	13.0	11.4	7.5	10.8	17.2	6.3	6.3	39.6	40.1	34.7	8.2	3.3	0.0	0.0	2.7	7.0	0.5	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
27,001～30,000円	14.8	14.9	10.5	10.2	11.4	11.1	4.3	10.9	3.8	4.3	3.9	3.4	2.0	0.0	0.0	9.5	4.1	1.8	0.9	1.8	3.0	0.0	0.0	0.0	
30,001～33,000円	6.9	8.3	8.0	6.7	7.7	5.8	4.3	7.8	5.0	1.4	1.3	0.6	0.0	0.0	0.0	4.8	1.4	10.5	0.9	3.7	4.5	0.0	0.0	0.0	
33,001～37,000円	10.5	10.5	9.1	5.6	3.6	5.6	3.2	1.6	3.8	1.4	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	12.2	22.8	4.1	6.0	4.5	0.0	0.0	0.0	
37,001～40,000円	3.4	4.4	5.0	1.1	1.3	0.6	2.2	0.0	6.3	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.6	14.9	4.4	4.1	8.7	6.0	0.0	0.8	0.0	
40,001～50,000円	6.0	7.2	2.7	1.1	0.9	2.0	5.4	4.7	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.9	10.8	9.6	17.9	18.3	21.6	0.0	0.0	0.8	
50,001～70,000円	0.4	1.1	1.1	1.1	2.0	1.5	2.2	0.0	15.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.2	21.6	15.8	21.1	16.5	13.4	9.2	8.4	16.0	
70,001～100,000円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	6.3	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	9.5	8.8	17.0	17.0	18.7	69.9	62.6	64.0	
100,000円以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	7.8	1.3	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	9.5	11.4	33.5	24.3	27.6	20.9	28.2	19.2	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

## フレームカラー別構成比

車種別 フレームカラー	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車			
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	
ブラック系	7.0	13.4	9.5	2.7	2.5	2.5	18.2	14.3	12.5	2.2	12.5	0.0	0.0	0.0	4.3	42.4	40.0	22.0	31.8	27.1	27.9	0.0	2.2	0.0	
シルバー系	71.8	64.2	67.6	52.1	54.4	51.3	12.1	32.1	37.5	6.5	6.3	3.8	0.0	3.6	13.0	15.2	13.3	9.8	0.0	10.4	14.0	45.6	52.2	38.3	
ホワイト系	4.2	6.0	0.0	2.7	1.3	0.0	24.2	17.9	9.4	4.3	4.2	3.8	0.0	3.6	4.3	9.1	13.3	14.6	25.0	20.8	14.0	8.8	6.5	4.3	
ブルー系	7.0	6.0	13.5	11.0	22.8	23.8	15.2	7.1	3.1	60.9	45.8	60.4	38.9	35.7	34.8	15.2	10.0	17.1	13.6	14.6	18.6	21.1	10.9	34.0	
パープル系	0.0	1.5	0.0	2.7	1.3	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
レッド系	4.2	4.5	2.7	13.7	1.3	6.3	6.1	14.3	9.4	2.2	4.2	5.7	11.1	10.7	4.3	9.1	10.0	7.3	13.6	4.2	4.7	7.0	6.5	2.1	
グリーン系	4.2	1.5	0.0	2.7	5.1	3.8	9.1	10.7	12.5	2.2	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	3.0	3.3	4.9	0.0	6.3	4.7	3.5	6.5	4.3	
イエロー系	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	3.0	0.0	3.1	0.0	2.1	0.0	11.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	2.3	0.0	0.0	4.3	
オレンジ系	0.0	0.0	1.4	0.0	1.3	2.5	3.0	0.0	6.3	4.3	2.1	1.9	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	2.2	0.0	
ピンク系	0.0	1.5	0.0	9.6	5.1	6.3	3.0	0.0	0.0	4.3	6.3	5.7	22.2	21.4	21.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3	
2色以上・その他	0.0	1.5	5.4	2.7	5.1	2.5	3.0	3.6	6.3	13.0	16.7	17.0	16.7	17.9	17.4	6.1	10.0	22.0	15.9	12.5	14.0	12.3	13.0	8.5	
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 今後2～3カ月間の販売見通し

[単位：％]

区分	好転	横ばい	悪化	業況D I
本月	7.2	69.1	23.7	-16.5
前月	9.3	61.9	28.9	-19.6

(注) 業況D I = 「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)

